

令和4年度事業報告（事業の状況）

公益目的事業	本県木材関連産業の振興を図る事業
--------	------------------

（1）情報収集提供事業

本県木材関連企業における製品開発や加工利用技術の向上に資するため、秋田県立大学木材高度加工研究所の試験研究成果、木材・木製品に関する法令や制度の制定・改正情報、各種研修会や講習会の開催案内、木材関連の新技术情報、当機構の業務紹介などについて、情報紙及びホームページにより適時広範な情報発信を行った。

1) 情報紙の発行

情報紙「木材加工最前線」を出捐団体や賛助会員をはじめ、県内の林業・木材関連企業や行政機関、県内外の試験研究機関等へ配布した。

発行回数：3回（96～98号）／発行部数：各号600部（97号のみ650部）

NO.	発行部数	発行日	主な内容
第96号	600部	R4.8.2	木材高度加工研究所から～木材基礎講座 / パイオ炭とJークレジット / 野田准教授に保存学術奨励賞 ほか 木材加工推進機構から～東京オリ・パラに提供された秋田スギでベンチを設置 / 再造林推進総決起大会 ほか
第97号	650部	R4.12.15	木材高度加工研究所から～JSTの支援事業に採択 / 「木質文化財研究の歩み」例会から / 木製防護柵の塗装 ほか 木材加工推進機構から～創立30周年記念式典が開催 / 記念講演+パネルディスカッション / 木材利用提案コンクール ほか
第98号	600部	R5.3.31	木材高度加工研究所から～木高研講演会での発表概要 / フォワード訪問記 / 各種学会での木高研関係者の発表テーマ 木材加工推進機構から～秋田県庁が「森林資源造成課」を新設 / モクコレに秋田県木連が出展 ほか

2) ホームページの運用

当機構の業務紹介、各種研修会や講演会の開催案内、最新の木材製品情報、木材関連産業のトピックスなど各種情報をホームページに掲載し、広く情報の提供を行った。

◎ 更新回数：HP25回、FB20回 / トップページへのアクセス数：12,684件

（2）技術指導・移転事業

木材関連企業が抱えている木材製品の生産、加工、利用に関する技術的課題の解決をサポートするため、各種相談対応、現地指導、企業訪問、技術開発支援を行った。

1) 相談対応

来訪、電話等により企業から寄せられる諸課題に木高研と連携しながら対応し、必要に応じて資料送付、関連情報の収集提供、データ恵与、事例紹介などを迅速的確に行った。

◎ 相談件数：28件

① 内容別内訳 (件)

加工技術	生産技術	利用技術	情報提供ほか	計
1	4	7	16	28

② 業種別内訳 (件)

林業	木材加工	流通	建築設計	行政	試験研究	その他	計
0	12	1	3	1	2	9	28

2) 現地指導

企業からの派遣要請に基づき、当該企業が抱えている技術的課題の解決に適任の指導者を当機構の顧問、技術コンサルタントなどの中から人選し、直接企業に赴いての現地指導を行った。

◎ 顧問指導：1件 / 技術コンサルタント指導：1社

区分	指導日	対応者	企業名	内容
顧問指導	R4.10.7	林 知行顧問	木材加工推進機構	創立30周年記念講演「30年の歩みを振り返る」 木材・木造建築を取り巻く環境の変化に伴う木質材料・木質構造の開発の歩みと今後の課題について
技術コンサルタント	R4.8.19	木材高度加工研究所 教授 栗本康司氏	羽後町 (株)小野建設	・木材でつくる畜舎建築事例及び糶殻、そば殻の炭利用について

3) 企業訪問

木高研の研究成果の民間への移転可能性を探るとともに、企業ニーズを把握して研究課題に反映することをねらいとした企業訪問を実施した。

◎ 訪問企業数：76社 (団体など含む) 社 (延べ)

林業	製材	合板	集成材	フローリング	プレカット
4	31	2	5	1	1
チップ	家具木工	建具	流通市場	工務店	その他
2	4	2	9	0	15

(3) 啓発研修事業

新製品開発に意欲のある企業や、社員の技術研鑽・知識向上に取り組む企業などを支援するため、公開講演会及び技術研修会を開催した。

1) 公開講演会

木材高度加工研究所の研究内容や成果を業界関係者、行政、他研究機関などへ広く周知するため、能代市、能代木材産業連合会と連携して研究所講演会を開催した。

開催日	会場	参加者	講師	演題
R5. 2. 10	能代市文化会館	67名	木材高度加工研究所 特任助教 沈昱東氏	「冷温帯に生育するブナ・カンバの肥大成長及び密度に関する年輪年代科学的研究」
			木材高度加工研究所 助教 安藤大将氏	「木質バイオマスの成分と化学構造」 *体調不良により高田所長が代弁
			木材高度加工研究所 教授 高田克彦氏	「JST事業：技術×教養×デザインで拓く森林資源活用による次世代に向けた価値創造共創拠点」

2) 技術研修会

既存の製材、集成材、合板等に加え、公共・民間施設における木材の利用拡大を図るためセミナーを開催した。

あきた木造建築塾開催（県受託事業）

開催日	会場	参加者	講師	演題・テーマ
R4. 7. 6	オンライン開催	15名	秋田県林業木材産業課 副主幹 高野拓広氏 木材高度加工研究所 教授 高田克彦氏	・ 建築講座概要説明 ・ 木材利用と炭素循環
R4. 7. 27	オンライン開催	13名	木材高度加工研究所 教授 山内秀文氏 木材高度加工研究所 准教授 岡崎泰男氏	・ 材料としての木材 ・ 建築と木材
R4. 8. 26	オンライン開催	20名	秋田県立大学 教授 板垣直行氏 ティンバラム（株） 設計・技術部長 日景 孝氏	・ 木造建築の変遷と構法の変化 ・ 公共建築（非住宅）への木材利用
R4. 9. 14	オンライン開催	23名	(有)西方設計 代表取締役 西方里見氏 木構造振興（株） 客員研究員 原田浩司氏	・ 非住宅建築物の木造・木質化設計 ・ 建築基準法の変遷
R4. 12. 7	秋田県 JAビル	54名	(株)日建設計 エンジニアリング部門 構造設計グループ ディレクター 村上勝英氏	・ 中大規模建物における木材利用例

学生を対象にした設計コンペの開催（県受託事業）

開催日	会場	参加者	審査委員等	内 容
R4. 11. 11	秋田県 JA ビル	8 名	審査委員長 秋田工業高等専門学校 助教 鎌田光明氏 ほか委員 7 名	・木材利用提案コンクール応募作品の審査 (応募作品数 26 点) 最優秀賞 1 点, 優秀賞 2 点, 特別賞 1 点, 佳作 4 点
R4. 12. 7	秋田県 JA ビル	54 名	木材利用提案コンクール 表彰式 審査委員長講評 秋田工業高等専門学校 助教 鎌田光明氏	作品：表彰式会場に展示

創立 30 周年記念事業

開催日	会 場	参加者	内 容
R4. 10. 7	能代市 プラザ都	110 名	◎記念式典 ◎記念講演会 ・テーマ：「30 年の歩みを振り返る」 ・講 師：京大大学生存圏研究所 特任教授 林知行氏 ◎パネルディスカッション ・テーマ：「成熟期を迎える秋田産を最大限に利用するための課題」 ・コーディネーター：木材高度加工研究所 所長 高田克彦氏 ・パネリスト：木材加工推進機構 顧問 林 知行氏 秋田県木材産業(協)連合会 理事長大坂真一氏 林業漫画家／北海道森林管理局 平田美紗子氏 菱秋木材(株) 代表取締役 秋元秀樹氏 ◎祝賀会(参加者 67 名)

◎フォトコンテストの実施（最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点）

◎秋田の林業及び業務紹介イラスト作成（林業漫画家：平田美紗子）

◎記念誌、記念品の製作

◎林業漫画の展示

（1） 2022 あきた水と緑の森林祭／R4. 7. 9／能代市 道の駅ふたつ

（2） 創立 30 周年記念式典／R4. 10. 7／能代市 プラザ都

木質耐火部材開発シンポジウム

開催日	会場	参加者	内容
R4. 12. 22	木材高度加工研究所 耐火棟	28名	<p>◎現地研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐火試験棟の設備説明 ・木質耐火部材開発事業の概要説明 ・これまでの耐火試験結果の説明
R4. 12. 22	能代市文化会館	38名	<p>◎特別講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「木材を見せながら火事に負けない木造建築物をつくる」 ・講師：桜設計集団一級建築士事務所 代表 安井 昇氏 <p>◎パネルディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「秋田県内での耐火部材の活用について」 ・コーディネーター：秋田県立大学 教授 板垣直行氏 ・パネリスト：桜設計集団一級建築士事務所代表安井昇氏 ライオンパラム(株) 専務取締役 菊池和文氏 設計集団環(協) 理事長 佐藤友一氏 木材高度加工研究所 教授 高田克彦氏

収益目的事業	木材に関する調査・研究等を行う事業
--------	-------------------

企業や官公庁から発注される次のような木材に関する調査・研究事業等を行った。

- 1 企業からの依頼により、製材品・集成材・家具等の強度試験、木材の含水率や摩耗などの物性試験、梁の耐火試験のほか、ホルムアルデヒドの放散量測定など、製品の品質管理や新製品開発過程などで必要とする各種の試験を実施する。
- 2 国の各省庁が発注する木材の調査・研究に関する業務を受託する。
- 3 自治体等などからの依頼を受け、木製ダム・木柵・木橋等の木製構造物の劣化等の診断をする。

◎依頼件数：63件

分野	件数	主な試験内容
強度試験	30件	<ul style="list-style-type: none"> ・集成材の曲げ試験 ・椅子の各種強度試験 ・接合部のせん断試験 ほか
物性試験	10件	<ul style="list-style-type: none"> ・製材の含水率試験 ・減圧加圧剥離試験 ・ヤング係数測定 ほか
耐火・燃焼試験	14件	<ul style="list-style-type: none"> ・炭化試験 ・発熱性試験 ・耐火試験
その他	9件	<ul style="list-style-type: none"> ・パーティクルボードのホルムアルデヒド放散量試験 ・木床板の樹種識別 ・木橋の穿孔抵抗測定 ほか

■ 貸借対照表 ■

令和5年3月31日現在(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	18,736,058	13,708,376	5,027,682
未収金	5,119,500	5,635,860	△ 516,360
流動資産合計	23,855,558	19,344,236	4,511,322
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産投資有価証券	422,182,000	489,114,000	△ 66,932,000
基本財産合計	442,182,000	509,114,000	△ 66,932,000
(2) 特定資産			
定期預金	115,000,000	115,000,000	0
普通預金	0	3,000,000	△ 3,000,000
特定資産合計	115,000,000	118,000,000	△ 3,000,000
(3) その他固定資産			
電話加入権	144,000	144,000	0
備品	1,238,175	1,699,875	△ 461,700
その他固定資産合計	1,382,175	1,843,875	△ 461,700
固定資産合計	558,564,175	628,957,875	△ 70,393,700
資産合計	582,419,733	648,302,111	△ 65,882,378
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,230,401	2,222,502	△ 992,101
預り金	136,238	108,910	27,328
流動負債合計	1,366,639	2,331,412	△ 964,773
負債合計	1,366,639	2,331,412	△ 964,773
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	509,114,000	496,934,000	12,180,000
基本財産評価損益	△ 66,932,000	12,180,000	△ 79,112,000
指定正味財産合計	442,182,000	509,114,000	△ 66,932,000
(うち基本財産への充当額)	(442,182,000)	(509,114,000)	0
2. 一般正味財産	138,871,094	136,856,699	2,014,395
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
正味財産合計	581,053,094	645,970,699	△ 64,917,605
負債及び正味財産合計	582,419,733	648,302,111	△ 65,882,378